

～新型コロナウイルス抗体検査（IgG）（自費診療）～

当院では、希望者を対象として新型コロナウイルス抗体検査（IgG）を実施しております。検査をご希望の方は、下記の検査概要をよくご理解いただいた上で、お電話か Web 予約にてお申し込み下さい。

《費用》

この検査の費用は保険適用外で、10,000 円（税込）になります。

《受付》

お電話か Web 予約にてお申し込み下さい。

ご不明点、ご質問等ございましたら、下記までお問い合わせください。

電話 045(911)3232

WEB 予約 当クリニックホームページ内の「CLINICS」の予約ページからご予約ください。

<https://tsuchiya-kinen-clinic.com/>



《当院で行う抗体検査について》

当院で行う新型コロナウイルス抗体検査（IgG）は、採血（約 2mL）による血液検査です。定量検査（精密検査）であり、採血した検体を検査会社（BML）に委託して行います。そのため、定性検査（簡易検査）と違い、結果の判明までに 2～3 日かかります。抗体検査で使用する試薬は、アボット社 研究用試薬（ARCHITECT SARS-CoV-2 IgG）を用いて測定を行います。感度 100%（ただし、発症後 14 日以上経過している場合）、特異度 99.63%とかなり正確性の高い検査試薬です。検査結果につきましては、説明文とともにご自宅に郵送させていただきますので、ご確認をお願いいたします。

《こんな方が対象となります》

- ① 今まで自覚症状はないものの、過去に新型コロナウイルス感染があったか心配な方
- ② 過去に風邪症状があったが現在は改善していて、それが新型コロナウイルス感染だったか心配な方
- ③ その他の事情により、自身に新型コロナウイルスの抗体があるか確認したい方

※IgG 抗体検査は、新型コロナウイルス感染症に罹患済み（かかったことがある）かどうかを調べる検査であり、現在罹患しているかどうかを調べる検査ではありません。現在感染が疑われる方は、保健所や指定医療機関において検査が行われます。

《新型コロナウイルス IgG 抗体とは》

抗体とは、ウイルスなどの病原体が体内に入った時に、特異的に反応する物質です。抗体が作られ、外から侵入した病原体を攻撃する仕組みを「免疫」といいます。予防接種でワクチンをうつ目的は、ワクチンによって体内に抗体を作り身体を守るための免疫を作ることにあります。抗体の中で、感染症の診療に必要なのは2種類で、それはIgMとIgGという抗体です。IgM抗体は病原体が侵入した後に最初に作られ陽性となる抗体で、IgG抗体は発症からしばらく経過してから陽性になります。

新型コロナウイルス感染症においては、現時点ではIgM抗体およびIgG抗体はいずれも発症早期には陽性とならない可能性が高く、発症早期の患者さんの診断に用いることは推奨されていません。IgM抗体については偽陽性も少なくないため、IgM抗体陽性のみでは新型コロナウイルス感染症を確定診断することはできません。一方で、発症から時間が経過した方ではIgG抗体の陽性率が非常に高いため、既感染（かかったことがある）の確認には有用であると考えられています。

《IgG抗体検査の目的について》

新型コロナウイルス感染症は、感染していても自覚症状がなく、かかったことに気づかない軽症例が過半数を占めているといわれています。つまり、PCR検査による確定診断に至った感染者数よりも、実際の感染者数は多いのではないかと推測されています。（発表されている感染者数の数十倍の方が実際には新型コロナウイルスに感染しているのではないかと考えられています。）IgG抗体検査を行う目的は、気がつかないうちに新型コロナウイルスに罹患した（かかったことがある）かどうかを調べるための検査であり、健康診断的な意義があります。しかし、

- ① 「既感染者」が「免疫獲得者」であるか現時点では不明であること
 - ② 抗体が陽性であっても再感染を否定できないこと
- 等が指摘されており、課題も多くあります。

《検査結果の解釈について》

- ① 新型コロナウイルス IgG 抗体（+）（Index：1.40 以上）

新型コロナウイルスに罹患済み（既感染）の可能性が高いです。

症状が消失していれば治癒している可能性が高く、周囲に感染させるリスクも低いと考えますが、**発熱や肺炎症状がある方は、新型コロナウイルスに現在罹患（発症早期）している可能性が高い（周囲に感染させるリスクが高い）**ため、保健所や指定医療機関での検査をおすすめします。

- ② 新型コロナウイルス IgG 抗体（-）（Index：1.40 未満）

IgG抗体が陰性であっても、新型コロナウイルス感染の可能性を否定することはできません。（IgG抗体は発症早期には陽性とならない可能性が高く、発症早期の患者さんの診断に用いることは推奨されていません。）